

進んだ
施策を

学んで生かすべ!!

視察研修レポート



長野県
おみ
麻績村

地域活性化特別委員会

おみ
7月28日 長野県麻績村



おやきの会会員による熱心な説明

麻績村は人口2874人の村です。平成9年に加工施設の活用について、村から呼びかけがあり、食生活推進委員会、農協、商工会の女性有志により、麻績村おやきの会が発足しました。村の特産品の開発及び遊休農地の活用を目的として地物でおやきを作り販売することとしました。平成25年には「合同会社麻績」を設立、現在社員14名で運営しています。

話合いには、おやき生産に携わる女性も参加しました。活発な質疑応答の中で、なぜおやきにこだわったのかの質問に、「県内で一番おいしいおやきをつくりたいから」と熱い思いも聞きました。また、会員のみなさんから苦労したこと、楽しかったこと、やって良かったことなどの話も聞きました。話をすることで麻績村の女性のあきらめず継続して進めている力強さを感じました。

長野県麻績村

「おやき」で地域活性化

榛東村で子ども議会開催

子ども議員が活発な質問

8月24日、第1回子ども議会が開催されました。代表の子ども議員は、榛東中生徒8人、北小、南小の児童各4人です。今年度初めての試みで、教育委員会が主催で行われました。

『私たちの住む榛東村の夢ふくらむ未来』というテーマで、保護者や村議会議員、教育委員、学校関係者が傍聴するなか、村長、副村長、各課課長に子どもたちの視点から、村の将来に関する提言や提案、現在進めているさまざまな施策に対しての質問が、堂々と行われていました。

選挙権の年齢も18歳に引き下げられ、子ども議会を通して自分たちの住む榛東村を愛し、将来への夢を持ち続けていただければ良いと思います。



真剣な子ども議員たち

東京都瑞穂町



議会広報特別委員会

7月11日 東京都瑞穂町議会

7月12日 全国町村議会広報クリニック

東京都千代田区



庄内町と一緒に研修

7月11日議会広報特別委員会、平成27年度全国町村議会広報コンクール編集・デザイン部門において奨励賞を受賞した東京都瑞穂町で研修を行いました。今回は平成26年度全国町村議会広報コンクールにおいて優良賞を受賞した山形県庄内町も同時に瑞穂町を研修に訪れ、3町村合同での研修となりました。

瑞穂町の「みずほ議会だより」は、任意での6人により、議会だより編集委員を構成し、発行しています。工夫している点は、表紙の写真はセピア色にこだわっていること、余白を有効に使うこと、写真にはなるべくメッセージを残すようにしたり、動きのある写真を使って、多くの住民に見てもらえるようにしているとのことでした。

この研修の成果を生かして、「多くの皆様に見てもらえる広報」を目指して努力していきます。

東京都瑞穂町

写真にこだわる広報



東京都千代田区

読者の目線で編集

7月12日東京で開催された全国町村議会広報クリニックに参加しました。

広報アドバイザーの吉村潔氏により、読者目線での文字や文章の配置、写真のネーム、色の使い方など、より分かりやすい広報にするための具体的なアドバイスを受けました。映画の見出しは13文字が2段になっているので、広報の見出しも13文字以内が読みやすいことや、写真の撮り方を同じような位置からのものばかり載せると、見る人は同じもののように見えてしまうので気をつけるなど、少の配慮で見やすさや読みやすさが改善されることを学びました。これからもこの研修の成果が「より良い議会だより」として住民から評価されるよう編集に取り組みしていきます。



吉村氏の話真剣に聞く